



2005-06 Governor's Information

検索

■公式訪問日程表

■年間予定表

■褒章について

■役割分担表

■ガバナー補佐事務所

■地区役員

■地区委員会

■地区内クラブ

■ロータリーソング

■リンク集



▲名古屋港水族館

ガバナー月信 No.5 11月

ロータリー財団月間

- ・[ガバナーメッセージ](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(鈴木 孝則\)](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(平岩 慎次\)](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(鈴木 哲\)](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(川辺 清次\)](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(藤田 守彦\)](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(渡辺 均\)](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(山内 登\)](#)
- ・[ロータリー財団月間によせて\(矢形 修己\)](#)
- ・[ガバナー公式訪問](#)
- ・[ポリオ撲滅募金活動キャンペーンの御礼](#)
- ・[2006～2007地区スタッフ決定](#)
- ・[万博を終えて](#)
- ・[会員数及び出席報告\(H17.9月分\)](#)
- ・[第2回地区諮問委員会](#)
- ・[文庫通信](#)

月信バックナンバー

[2005-2006年度バックナンバー](#)

[2004-2005年度バックナンバー](#)

国際ロータリー第2760地区
2005-2006年度ガバナー

高橋 治朗

■ガバナープロフィール

■地区方針

■RI会長ごあいさつ



超我の奉仕

ガバナー事務所ご案内▶

国際ロータリー第2760地区(愛知) ガバナー 高橋治朗

〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4

名古屋マリオットアソシアホテル2226号室

TEL.052-583-3171 FAX.052-583-3172 E-mail:governor05-06@rotary2760.org

[ガバナーメッセージ]

Governor Message

Nov.

第2760地区
2005～2006年度ガバナー

高橋 治朗



今年の夏の終わり(9月16日)、名古屋港金城埠頭に日本の誇る地球深部探査船「ちきゅう号」が万博協賛のため処女航海で寄港しました。この様に大きな探査船は世界でも初めてで、宇宙開発では米国が世界で断トツですが、海底探査は日本が世界をリードできる舞台が整いました。

「ちきゅう号」の大きさは、長さ210m、57,100トン、船底から掘削やぐらの頂上までの高さ130mという巨大船で3年半かけて日本の技術で作られましたが、背高のやぐらが邪魔をしてどんな橋の下もくぐれません。

当日は森(元)首相【本計画承認時の首相】、神田知事、同船を所有する海洋研究開発機構の役員等も出席して歓迎式が行われ、来賓から海洋少年団を中心とする乗船見学の参加者に、海の重要性、自然の大切さ、地球を直接深部まで研究できる喜びが説明された後、船内の研究施設、新鋭機器等がお披露目されました。

この船は、深海2,500mの海面上で6つのスクリューを使い位置が変わらないようにして、その場所から海底の下7,500mまで掘削、つまり海面から1万m下までドリリングできる能力を持つ特殊な構造になっていて、海底の下にある海洋地盤のサンプルを採ります。そのためには1ヶ所で1年半かかるそうです。

昨年、徳山ダムの建設現場を視察した時、「この辺りの岩石は2億年ほど前はハワイ諸島の附近にあったものです」という話を聞い

ても全然理解できなかったのですが、今回、「ちきゅう号」で説明を聞き、いただいた本「地球の内部で何が起きているのか」を読んで納得できました。

海洋地盤は重い玄武岩質岩石で構成され、厚みが5～8km、大陸地盤は花崗岩質の岩石で厚みが30～50kmもあるということです。海洋地盤の下のマグマが同じ所で噴出すると(例えばハワイ諸島周辺)、火山島または海底火山となって地殻の一部を形成しプレートに乗って、太平洋の場合は西に向って何千万年、何億年もかかって移動するのだそうです。従って、この地盤の試料を分析できれば、この地球46億年の変動の歴史が少しは分かるのではないかと、私も非常に興味を持つ7億年前の地球凍結説がどこまで解明できるのか期待しています。



ちきゅう号

日本海溝、駿河トラフ、南海トラフ等の太平洋プレートとユーラシアプレートとがぶつかり合う所は90～150年おきにM8クラスの巨大地震が発生している事実があります。「ちきゅう号」も日本周辺を手始めに是非このメカニズムを解明し、地震の少しでも早い予知と災害防止に役立つような活躍を願ってやみません。

ロータリー財団月間によせて



地区ロータリー財団委員会 委員長
鈴木 孝 則

まずは、この機会をお借りしてロータリー財団に常日頃いただいておりますご理解とご協力に心から感謝申し上げます。おかげ様で当地区の財団活動は実績をあげながら、大変スムーズに意義深く展開されておりますことをご報告申し上げます。

「ロータリー・ワールド 2005年度第1号」に次のような言葉が載っております。

「ロータリーの心と魂は、ロータリー財団が果たしてきた仕事に集約される。」

「ロータリアンは、世界や地元社会のために活動するための素晴らしい手段（ロータリー財団）を備えている。」

私は、ロータリー活動の80%は「ロータリー財団活動である」と信じております。ですから、我々ロータリー財団委員会活動の成否が、ロータリーの命運を握っていると言っても過言ではありません。

ロータリー財団委員会の活動は3つあります。

- 寄付金を (1) 集める、
- (2) 管理・運用する、
- (3) 活用するの3つであります。

(2)の管理・運用するは、我々の仕事ではありませんので、(1)集める、(3)活用するについて考えてみたいと思います。これは、各クラブでも同じことであります。

所属7小委員会のうち、「集める委員会」は年次寄付委員会、恒久基金委員会、ポリオ・プラス委員会で、「活用する委員会」は補助金委員会、財団奨学委員会、研究グループ交換委員会、財団学友委員会であります。

当地区の「国際ロータリーにおける『ロータリー財団』の概要」（各クラブ財団委員長さんにお渡し済み）50ページにも載せておきましたが当地区の本年度事業計画が要約されております。この中で、最重点項目は「毎年あなたも100ドルを『Every Rotarian, Every Year』（EREY）」の周知徹底であります。これからこのスローガンを何度も聞く事になりますので、「Every Rotarian, Every Year」（EREY）の日本語訳がどうして「毎年あなたも100ドルを」になるかを説明しておきます。「毎年あなたも100ドルを」は、2001年の規定審議会の決議であり、「EREY」は、2003年4月の財団管理委員会の決定であります。ですから、二つの目標は、生まれも育ちも異なります。しかし、出所は違っても、

財団の資金を強化するという目的においては一つのものでありますので、日本においては、「EREY」の訳文を「毎年あなたも100ドルを」とし、統一したスローガンとしております。

皆様ご存知のように豊島年度より各クラブが自主的に設定した寄付目標額の合計が、地区目標額になる事になりました。ほとんどのクラブは、「一人100ドル以上」の目標設定をされていますので、少なくとも、会長さん、財団委員長さんでは、EREYをしっかり認識されていると思います。私どもは、会長、財団委員長さんだけではなく「全会員が自主的にEREYを実践する習慣をつくる」ことを地区財団委員会最重点目標に致しました。

しかし、問題があります。

ロータリーの目標は、「世界平和」と「国際親善」です。格調の高い、高邁な理想です。ロータリアン個人が財団に寄付したからといって、どれだけ世界平和や国際親善に貢献できたかという実感はほとんどありません。これが問題です。寄付する人は、「寄付する喜び」、「寄付する満足」を感じる必要があります。

そこで、当地区と致しましては、「寄付金の使途を、明確に、積極的に示し、いかに活用されているかをPRすること」で、ロータリアンとしての満足・誇りを感じていただき、寄付を集め易くしたいと思っております。「ロータリー財団の概要」12ページから18ページをご覧ください。不十分かもしれませんが、寄付金の使途、財団の財務報告を載せておきました。

「ロータリー財団に寄付する」のではなく、「奉仕プロジェクトに寄付する」わけですから、「ロータリアンである以上寄付をしてください」というアプローチではなく、「活用されている内容を知らせ、自主的にEREYを実践する地区にしたい」のが念願です。

「寄付集めの財団」から「活用を知って、自主的にEREYを実践する財団」への進化、これが当地区の目標であります。

皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

ロータリー財団月間によせて



地区補助金委員会 委員長
平 岩 慎 次

1.地区補助金とは

地区補助金は、2003年～2004年度からロータリー財団にもうけられた新しい制度で、鈴木孝則委員長、尾上昇副委員長、平岩慎次委員の3名でスタートし、三期目になりました。

この地区補助金は、「地域の振興」や、「経済的に恵まれない人々の生活を向上させるため」に各地区が、地元地域社会や国際レベルで行う人道的プロジェクトにたいし、地区財団活動資金(DDF)を使うことを、認めるものです。補助金は3年前の年次寄付の60%にあたるDDFの20%まで、地区は申請出来ます。(次期年度は3年前の年次寄付の50%にあたるDDFの20%まで)2005年～2006年度の当地区の補助金額は51,000ドルで≒5,202,000円(1\$=102円)になります。この補助金を地区内の各ロータリークラブから、エントリーされた生産的事業(プロジェクト)に、配分いたします。

2.補助金審議会について

「補助金審議会」は、毎月1回、高橋治朗ガバナーをはじめ、福田清成財団カウンセラー、川島誠地区幹事、宮田紀昭地区副幹事、鈴木孝則地区財団委員長、深谷友尋・石川昌和地区財団副委員長、地区補助金委員会(平岩慎次委員長、高山光雄副委員長、貴田永克委員、杉本治彦委員)の委員で開催します。補助金審議会は、各クラブから提出されたプロジェクトの補助金申請書をもとに、以下の基準に照らし、慎重で且つ公平に審議したうえ、全員一致で承認を致します。

3.「補助金の対象となるプロジェクト」について

- 1) 地域ニーズを把握し、地域振興や恵まれない人々に役立ち、ロータリークラブ及びロータリアンが、積極的に且つ主体的に関わっていること。
- 2) ロータリアン及びその関係者にプロジェクトが、直接利益をもたらさないこと。
- 3) 単なる物品寄贈や寄付行為や、入場料を徴集したり、毎年継続しているプロジェクトや、進行中のプロジェクト、ロータリー以外の団体が主として提唱し、活動している事業でないこと。
- 4) プロジェクトは2760地区内で実施されることを原則とし、実施にあたっては、地元報道機関に広報し、地元の奉仕活動提供者、地元自治役員受益者と連携を持つための会合を開くこと。
- 5) 他クラブとの共催や対象国にロータリークラブがない海外プロジェクトも、良いです。

第一期以来35クラブがこの補助金制度を活用し、すばらしいプロジェクトを成功されています。皆様のクラブで予定がございましたら、お気軽に、お早めにお知らせいただければ幸いです。

ロータリー財団月間によせて



地区年次寄付委員会 委員長
鈴木 哲

1. 年次寄付とは

2004年のRIの規定審議会で「EVERY ROTARIAN EVERY YEAR」（毎年あなたも100ドルを）推進していくことが議決されました。昨年度2005～06年度の実績は当地区総額で512,319.10ドル、一人当たり96.25ドルで、100ドルに対してもう一步のところでした。

世界全体でみますと2005～06年の実績は、約8,350万ドルで寄付総収入約1億3,000万ドルの6割以上を占めている重要な寄付であります。

また、ロータリアン全員がロータリー財団活動に参加することを奨励する意味を持った寄付であります。

2. 寄付の使途について

シェアシステムといいまして、3年間はこの年次基金はRIロータリー財団にプールされ3年後に50%はWF（国際財団活動資金）に、50%はDDF（地区財団活動資金）に分割されます。

WFは世界各地のプログラムの費用を賄う為に使われます。すべてのロータリー地区が寄付額にかかわらず利用できます。DDFはその20%が地区補助金として直接各地区での地域振興、経済援助などのプログラムに使用されます。また、その他国際親善奨学金、マッチンググラントの同額補助金、GSE助成金などに使われます。

3. 目標達成にむけて

(1) パンフレットの活用

年次寄付を使用した当地区でのGSE活動、地区補助金での活動、国際親善奨学生の活動など紹介した「毎年あなたも100ドルを」のパンフレットが配布されますので、寄付の流れ、意義を知って全員参加の年次寄付にしていきたいと思います。

(2) 財団のDVDを利用した卓話

DVDを貸し出していますので財団月間の卓話などで利用して頂き、国際ロータリー財団の活動を学んでください。そこで「毎年あなたも100ドルを」のプログラムにクラブメンバー全員が積極的に参加をするようお互いに呼びかけていきたいと思います。

ロータリー財団月間によせて

財団奨学生派遣について

地区財団奨学委員会 委員長

川 辺 清 次



国際親善奨学金

国際親善奨学金はロータリー財団発足以来、民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度です。ロータリー財団奨学金の目的は、男女を他国の教育機関で勉学させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することにあります。

毎年約800～1300名くらいの財団奨学生がロータリー・クラブと地区、学校や市の機関、その他のフォーラムへの公式、非公式の参加を通して、受け入れ国の人々に対する優れた「親善使節」として行動しています。

◎1学年度（9ヵ月）の国際親善奨学金

旅費を含めた上限支給額は、2006～07年度より米貨26,000ドルとなります。

◎マルチ・イヤー国際親善奨学金

これは学位取得を目的とする2年の奨学金です。支給は1年につき2006～07年度より13,000ドルとなります。

◎文化研修のための国際親善奨学金

3ヵ月の語学強化研修と相手国の文化に溶け込むことを目的とするプログラムです。上限12,000ドルです。

この7年間の世界の奨学生は下記の通りです。

1947年の18人から大きく発展した奨学金プログラムですが、近年徐々に減っています。

	99～00	00～01	01～02	02～03	03～04	04～05	05～06
1 学年	990	925	777	732	620	620	588
マルチ2年	120	129	131	151	134	134	115
文化研修3ヵ月	140	110	123	121	101	91	83
合計	1250	1164	1031	1004	855	845	786

日本が受け入れる奨学生と派遣する奨学生数は下記の通りです。やはり年々減っています。

	99～00	00～01	01～02	02～03	03～04	04～05	05～06
派遣	337	372	345	330	304	278	232
受け入れ	53	31	26	26	40	40	27

ジャパン国際親善奨学金

この奨学金は日本だけが利用する奨学金で、奨学生に日本で、日本語および日本文化を学ぶ機会を提供することを目的とした3年間の試験的プログラムです。2006～07プログラム年度をもって終結することが決まりました。以後は日本語の研修等については寄贈文化研修奨学金を利用する事になります。

世界平和フェローシップ (World Peace Fellowship)

ポール・ハリス没後50周年と財団の教育的プログラム創設50周年を記念して、国際関係を研究するためのロータリー・ポール・ハリス・センターの設立計画を立てた。これは異なる地域の評価の高い6～8大学と

提携して行われる計画です。世界問題、紛争解決、国際的研究などで優れた教育課程を備えている。日本出身のフェローは今のところ11名です。残念乍らこの地区からは居ません。

国際親善修学金は地区から奨学生を推薦しますが、世界平和フェローは世界を枠とする競争制によって世界から60～70名が選ばれます。

各クラブにおかれましては、財団奨学金制度の目指すところをご理解頂き、多くの奨学生を派遣出来ます様、ご推薦頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

本年度は2006年1月中旬に募集要綱を配布致します。

ロータリー財団月間によせて

「財団学友会」の現状と期待

地区財団学友委員会 委員長

藤田 守彦



2760地区のロータリアンの皆様には「財団学友会」に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

11月は「財団月間」という事で、改めて学友会について御紹介をさせて頂きたいと思います。

御承知の様にロータリー財団には次の3つのプログラムがあります。それは「教育的プログラム」「人道的補助金プログラム」「ポリオ・プラスプログラム」です。財団学友会活動は「教育的プログラム」の1つであり、余り目立ちませんが重要な任務を果たしております。

学友会は、ロータリー財団奨学生（国際親善奨学生）として外国で学問を終了した学生と、これも教育的プログラムですが研究グループ交換（GSE）を終了したチームメンバー、ロータリー平和奨学生、大学教員の為のロータリー補助金受領者で構成されています。特に奨学生は選考合格が決まった時点で自動入会となり終身学友会員となります。2005年11月現在、当地区には347名、日本には8,350名の財団学友が活躍しています。元国連難民高等弁務官の緒方貞子さん、作家の牧野高吉さん、指揮者の松尾葉子さん最近では宇宙飛行士になる角野直子さんも学友会の一員です。

それでは私共、学友委員会の仕事を御紹介します。まず次の様な行事を主催します。7月には奨学生の為の「ガイダンス」をします。この行事は奨学生に決定された諸君に対して今後どの様な方法で留学先を決定してゆくのか、またロータリークラブの概要、考え方などを指導します。2月には奨学生の為の「オリエンテーション」を行ないます。この行事は、ほぼ決まった留学先への最終確認の仕方、現地での注意事項などを指導します。6月には財団学友会「総会」をかねて留学先の決まった奨学生への「壮行会」を行ないます。また、各行事の間には奨学生からの個別の相談にも応じています。

これらの行事はすべて、学友委員会と学友会代表幹事、幹事、会員が一緒になり行います。その他ロータリー財団学友の正確で最新の情報を維持する為の資料も作成管理しています。この資料は地区や各ロータリークラブの活動に学友の参加を推進する為の基盤となります。また、メーリングリストを作成し、

新しい奨学生の登録を行い先輩学友への質問、回答など留学までのアドバイスなどがメールで交換出来る様にしています。

次に学友への期待ですが、学友の場合それぞれの分野にて専門知識を習得した人が大半であり、この専門知識を国際ロータリー、ロータリー財団への支援の為に役立てて欲しいのです。また、帰国後2年から3年は地区内各クラブの例会に出席して卓話をしたり、ガイダンス、オリエンテーション、総会に積極的に参加をして、次に出発する奨学生に対して適切なアドバイスをする事。それが援助してくれたロータリーへの貢献になりますし、その事をスポンサークラブからも助言して頂きたいと思います。

この様に学友会活動に積極的に参加をして地区財団学友委員会と共に学友会組織の充実と活性化に努力をして貰えば更に良き循環となると考えます。

最後に課題として、財団学友委員会と学友会幹事の皆さんとの関係があります。年度によって学友委員会のメンバーは変わりますが、学友会幹事の皆さんはある時期まで永く役をされます。その中での意思伝達が巧くいけば、縦、横の繋がりと学友会活動は活性化される事となります。

簡単な様で難しい事ですが、地道な活動が実を結ぶ事と思います。さりとて、これも2760地区のロータリアンの力なしで実現出来ません。財団学友委員会も「誠心誠意」活動致しますので更なる御支援を御願い申し上げます。

ロータリー財団月間によせて

地区恒久基金委員会 委員長
渡 辺 均



恒久基金について

恒久基金とは、財団管理委員会が、世界理解と平和の為のロータリー財団基金（1982年に発足）に代わるものとして、新たに採択した名称です。財団管理委員会はこの基金の目的を世界中のロータリアンによりよく理解してもらう為に、この改称を行いました。新しい名称の「恒久基金」は、この基金の本質的特徴を表現しています。

財団の強固な将来を確実なものにする為に、財団管理委員会は恒久基金への新しい推進を認可しました。2005年4月30日時点でロータリー財団恒久基金の全世界の累計額は、US\$1億5810万ドルです。予測額（収益や誓約）は3月31日時点で2億9240万ドルで総額4億5050万ドルです。

その収益は人道的、教育的プログラム活動の益々増大していく費用をみたくしていく為に必要な年次プログラム基金のほか、もう一つの収入源を提供します。目標はロータリー創立100周年記念の2005年迄に5億ドルを設定されています。2025年迄には10億ドルとするのが目標です。

国際ロータリーはロータリーの100周年記念祝賀（西暦2005年）に向けて、又国際奉仕における世界の指導的役割を持つロータリーへの献身の表明として、ロータリー財団の恒久基金を特に支援する様にロータリアンに奨励しています。年次寄付と恒久基金寄付は同時に重要であり両方お互いに補い合っています。

年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします。恒久基金への寄付の元金は決して使いません。投資してその収益を財団プログラムの支援に使います。また、この違いをロバート・バース元RI会長は「年次寄付は毎日庭に水をまき花々に水分を供給する様なものです。恒久基金はいつでも水がまける様に十分な水を用意している貯水池の様なものです」と語っています。

ベネファクター（後援者）について

恒久基金は金額を問わず、いくらでも寄付する事ができます。通常1,000ドルの寄付者はベネファクター（後援者）として、バッジと表彰状を受け取ることができます。2005年6月30日時点で世界にベネファクターは68,076名おり、日本では2005年6月30日時点で18,156名います。当地区では2005年8月30日時点で612名のベネファクターがいます。当地区の目標は毎年各クラブ1名以上のベネファクターを出して頂く事ですが、残念ながら81（80）クラブの内5クラブがベネファクターをまだ1名もお出し頂けず、今後も深いご理解とご支援を頂けます様に広報活動に努力したいと思います。ただ年毎に各クラブからご理解を賜り前期もベネファクター<ゼロ>のクラブより3クラブがベネファクターをお出し頂き着実に各クラブよりご支援を頂いて居ります事をご報告させていただきます。

大口寄付者について

寄付の種類を問わず、年次寄付・使途指定寄付・恒久基金寄付の合計で10,000ドル以上寄付した人を大口寄付者と言います。クリスタル製の置物と表彰状を受け取る事ができます。大口寄付者は2005年6月30日時点で世界で6,593名、日本では2005年9月20日現在で619名です。当2760地区では2005年8月30日現在で10名です。

当地区では、大口寄付者は未だ少なく地区大会等での表彰などで広くPRする必要があります。

ロータリー財団月間によせて

ポリオプラス PolioPlus

地区ポリオプラス委員会 委員長

山内 登



ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5年間の誓約でした。これが、保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）プログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与されました。

1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画し始めました。世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムです。ロータリーは、故アルバート・セービン博士の助言と支援を得て、1985年にポリオ・プラス・プログラムを設けました。ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的としているためポリオ・プラスと呼んでいましたが、ポリオ・プラスの『プラス』は最初の頃と意味が変わってきました。現在は、世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産のことを指しています。

1985年は国連の40周年に当たりますが、そのとき、ロータリーは1億2,000万ドルを集めるという声明を発表し、1986年7月からスタートしました。その目標は、5年間毎年1億人の新生児に6ドースの経口ポリオ・ワクチンを投与する費用（当時1ドースは4セント）を計算したものです。2年以内で、米貨2億4,700万ドルを集めることができ、1988年6月末で終了しました。日本は募金目標が当時40億円と巨額のこともあり、RIの承認を得てキャンペーン期間を5年間と定め、1991年6月で終了し、約49億円の寄付金を集めるという大成功を収めました。

1995年規定審議会においてポリオ・プラスの目標は西暦2000年までにポリオを一掃し、その後2005年までに、ポリオの撲滅を証明することが採択されました。1990年に米州地域で、2000年には、西太平洋地域で、2002年にヨーロッパ地域で、ポリオ根絶宣言が出されています。

2002年4月より8,000万ドルの募金キャンペーン（Polio Eradication Fundraising Campaign-PEFC）がスタートしました。日本の場合は誓約で3年間（2002年7月から2005年6月まで）に1,600万ドル集めることを目標としました。ポリオ撲滅とは、世界保健機関の

定義と同じく野生株のポリオ・ウイルスの伝播をとめるという意味です。ポリオ・フリーということです。ナイジェリアではワクチンの安全性に疑問をもたれ2003年の終わりから2004年初めにかけて予防接種が一時停止されました。そのため、周辺諸国にポリオ・ウイルスが伝播しました。ですがカノ州では、2004年7月に予防接種が再開されました。

■2005年7月5日現在の症例数649件の国別内訳

イエメン	300	スーダン	25
アフガニスタン	3	マリ	1
ナイジェリア	194	インド	20
ニジェール	2	カメルーン	1
インドネシア	79	エチオピア	13
アンゴラ	1	パキスタン	10

ポリオ・プラス・パートナー・プログラム
PolioPlus Partners Program

1995年10月に発足したこのプログラムの目的は、ポリオ発生地域のロータリアンを援助し、以下の三つの極めて重要なニーズに目標を置き、ポリオの撲滅に必要な用具や補給品を提供することにあります。

- (1) 財全国予防接種日のための地域社会動員、
- (2) ポリオ・ウイルス免疫所への援助、
- (3) ポリオ担当役員・疾病専門医への援助活動。

管理委員会は、ポリオ・プラス・パートナー・プログラムを2006年6月30日まで延長することを決定しました。現金をポリオ・プラス・パートナーに寄付しますと、1ドルにつき50セントのマッチングが行われます（上限100万ドルまで）。

（ロータリー財団地域セミナーハンドブックより）

ロータリー財団月間によせて

2005年～2006年度 研究グループ交換 (GSE) について

地区研究グループ交換 (GSE) 委員会 委員長

矢形 修己



1. 概要

1965年に発足したロータリー財団の「国際交流プログラム」であります。

GSEの発足年度は、34チームが参加しましたが、2001～2002年度には544チーム、2002～2003年度には397チームが参加するまでに発展しました。このプログラムは年を追うごとに参加者が増え人気の高いひとつです。具体的には

- (1) 国を異にする2つの地区がペアを組んでおこないます。
- (2) メンバー構成はロータリアン以外で事業または専門職に携わる年齢25～40歳の選ばれた4名とリーダーのロータリアン1名を加えて編成、相手地区に派遣します。
- (3) 派遣もしくは受け入れ期間は4～6週間です。発足以来100カ国以上から37,000人(約7,600チーム)が参加しています。

2. 目的

異なった文化と職業の交流の場を提供する機会です。チームは派遣期間中、他国で同じ職業分野の参加活動、勉強、ホスト地区で歴史や文化を学ぶことにより異文化経験に浸りホストファミリーや地域社会の人々と親睦を深めます。また、クラブ例会やロータリー活動で日本の歴史と文化を通じ国際理解、親善、友好関係を高める手段のひとつとなります。

3. 事業の経過

このプログラムは従来 同一年度内に2地区間で派遣、受け入れを行って参りましたが、2002年度より隔年の派遣、受け入れに変更されました。岡部ガバナー年度(2003年3月～4月)当地区より9520地区に派遣しております。昨年度(豊島ガバナー年度)は、2003年11月に9520地区より2760地区が受け入れました。日程も当該地区の地区大会開催日を含むことが多いです。しかし、大島ガバナー年度は全GSEチームに「100周年記念GSEチーム」という特別名称が付、また愛知万博開催が重なり、DDFを使用して、単年度に派遣と受け入れを実施することになりました。(高橋ガバナー年度 予算・活動時間など併用)

a) 提携先RI 第5370地区の概要

- カナダの4州(アルバータ州・ノースイーストブリティッシュコロンビア州・ウエストサスカチュワン州・ノースウエスト準州イエローナイフ)でカバー
- 南北1300キロメートル・東西400キロメートルからなる地域
- 54クラブ、2,500名の会員数。エドモントンを中心とする

b) 地区の産業(主にアルバータ州)

- 農業は世界有数の生産性を誇り、カナダ全体の年間生産高 約25%を占める
- エネルギー州でもあり、カナダ全体の通常石油埋蔵量 65%以上
- 天然ガス80%強、ビチューメンとオイルサンド 100%存在
- 食品、飲料の加工は州最大の製造業である。
- 石油化学とプラスチック、林産品等がここ数年に行われた州経済多角化の成功を物語っている。
- 工業製品の多様化も進んでいる。
- サービス部門はGDPの60%を占める。壮大なロッキーマウンテン、ジャスパー、バンフ量国立公園が有名である

4. 受入(大島ガバナー年度・高橋ガバナー年度)

受入期間：2005年3月26日～4月23日で実施

GSE委員長：矢形 修己(名古屋北RC)

チームリーダー：リック・ハーコート
(エドモントン・アーバンスピリットRC)

チームメンバー：シンディ・グランド
ロブ・スクワイアー
クリストファー・ナッシュ
サム・ヴェルテニウク

5. 派遣(大島ガバナー年度・高橋ガバナー年度)

受入期間：2005年5月8日～6月6日迄 RI 5370地区(上記)

GSE委員長：矢形 修己(名古屋北RC)

チームリーダー：裕 伸夫(豊田西RC)

チームメンバー：平井 哲
松原 亜希子
河村 明香
井上 貴美子

6.近年の実施状況

(1)1997年～1998年度(犬飼ガバナー年度)

相手地区：RI4430地区（ブラジル・サンパウロ）
受入期間：1998年3月24日～4月23日で実施
派遣期間：1998年5月2日～6月1日で実施
GSE委員長：松前 憲良（一宮中央RC）
受入チームリーダー：豊田 淳治（スザノRC）
チームメンバー：ルイス・エドワルド・ベッセ・デ・アルーダ
アニッキ・コロソフリー
アンドレイ・モレイラ
カシア内山
派遣チームリーダー：犬飼 芳樹（名古屋東南RC）
チームメンバー：村田 修
内藤 幸子
高橋 利治
横田 悌三

(2)1999年～2000年度(野村ガバナー年度)

相手地区：RI6600地区（アメリカ・オハイオ州北西部）
受入期間：2000年3月26日～4月22日で実施
派遣期間：2000年4月25日～5月24日で実施
GSE委員長：山田 達（半田HRC）
受入チームリーダー：リチャード・M・ロジャース
チームメンバー：ジニー・W・ロスフェルド
マーガレット・P・ストウッドベイカー
ステファン・B・ヘス
ショーン・P・ケラー
派遣チームリーダー：石川 百代（豊橋RC）
チームメンバー：榊原 豪
小島 成樹
磯村 彰秀
中島 佐和子

(3)2000年～2001年度(福田ガバナー年度)

相手地区：RI2320地区（スウェーデン北部）
受入期間：2000年10月31日～12月1日で実施
派遣期間：2001年4月20日～5月20日で実施
GSE委員長：石田 弘幸（小牧RC）
受入チームリーダー：リナート・クレフボム
チームメンバー：シャネット・ステンマン
アン・カトリン・ホエルンフェルト
ティナ・ボンデスタム
アンダーシュ・ソルクビスト
派遣チームリーダー：須賀 碩二（豊田HRC）
チームメンバー：渡辺 博明
船津丸 昌好
勝本 由貴
加藤 千夏

(4)2001年～2002年度(太田ガバナー年度)

相手地区：RI3750地区（韓国・京畿道）
受入期間：2001年10月6日～11月5日で実施
派遣期間：2001年11月2日～12月2日で実施
GSE委員長：深谷 友尋（名古屋みなとRC）
受入チームリーダー：伊藤 信吾（西尾RC）
チームメンバー：岡田 健太郎
筒井 友佳子
小林 めぐみ
小栗 あゆみ
派遣チームリーダー：姜 昌浩
チームメンバー：李 明福
李 洪根
姜 慶淑
金 學龍

(5)2002年～2003年度(岡部ガバナー年度)

相手地区：RI9520地区
（南オーストラリア・アデレード）
派遣期間：2003年3月22日～4月19日で実施
GSE委員長：深谷 友尋（名古屋みなとRC）
チームリーダー：浅見 弥進男（一宮北RC）
チームメンバー：杉浦 徹
太田 晃二
高木 理加
佐藤 亜紀

(6)2003年～2004年度(豊島ガバナー年度)

受入期間：2003年11月1日～11月29日で実施
GSE委員長：矢形 修己（名古屋北RC）
チームリーダー：マルコム・リンクイスト（ブラウンヒルRC）
チームメンバー：トム・ギルバート
マイケル・ハミルトン
キンバリー・ロシヤイム
ピータ・チェック

7.現在の課題

日本と開発途上国の地区との研究グループ交換が活発に行われることが挙げられます。

それにより幅広い交流が行われると同時に世界社会奉仕への糸口もつかめる機会を持つことも可能となります。

最後にGSE委員会はプログラム終了後も多くのメンバーがリピーターとして、年間3～4家族の方に来日いただき、交流を図っています。またこちらのメンバーも旅行、Eメールなどを使用し交流を図っています。

こんなすばらしいプログラムです。是非卓和などにご利用いただき、ロータリー財団のすばらしい活動に触れていただければ、幸いに存じます。

ガバナー 公式訪問

9月2日(金)~30日(金)

- 安城ロータリークラブ… P.12
- 名古屋ロータリークラブ… P.12
- 小牧ロータリークラブ… P.12
- 一宮中央ロータリークラブ… P.13
- 名古屋西南ロータリークラブ P.13
- 豊橋北ロータリークラブ P.13
- 豊川ロータリークラブ… P.13
- 西尾 KIRARA
ロータリークラブ P.14
- 渥美ロータリークラブ… P.14
- 高浜ロータリークラブ… P.14
- 津島ロータリークラブ… P.14

安城ロータリークラブ



ホストクラブ
安城ロータリークラブ

ホストクラブ会長名
廣村 尚文

開催日 9月2日(金)

場 所
碧海信用金庫 本店 3F

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
安城ロータリークラブ	廣村 尚文	省名 俊裕	66名
三河安城ロータリークラブ	小西 紀久雄	富田 清治	54名

高橋ガバナー、川島地区幹事のご来訪に感謝申し上げます。三河安城ロータリークラブ・安城ロータリークラブの合同例会並びに会長幹事会を公式行事として開催させて頂きました。会長幹事懇談会において和やかに各クラブの特異性についてご示唆、ご鞭撻を頂きご指導を賜りました。卓話の時間には、「超我の奉仕」を基本に識字率、水質保全、愛・地球博、退会防止、会員増強、RCの公共イメージの向上等々実に効率よく理解させて頂き、大変気持ちの良い素晴らしい例会でした。ロータリー倫理と哲学に共通の利ほかを見出すことができ、有意義で楽しい時間でした。御礼申し上げます。

名古屋ロータリークラブ



ホストクラブ
名古屋ロータリークラブ

ホストクラブ会長名
安井 義博

開催日 9月6日(火)

場 所
名古屋観光ホテル

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋ロータリークラブ	安井 義博	岡嶋 昇一	186名

9月6日、高橋ガバナー・川島地区幹事をお迎えし、懇談並びに例会を開催しました。

懇談の場では、名古屋ロータリーの現状報告と、なかでも会員増強について意見交換をさせて頂くとともに、アドバイス頂きました。

例会の卓話では、高橋ガバナーより、ロータリー館の利用状況や多くのロータリアンの来場による大変な盛況ぶりのご報告を頂きました。また、色々な催しにも利用され、万博に非常に役立っていることに会員一同大変意を強くいたしました。また本年RIのテーマである「SERVICE Above Self」についてわかりやすく解説頂くとともに、「自分の気持ちから現れたService」こそがまさにロータリーの奉仕の神髄とのお話は大変有意義でありました。また、本年度の重要課題である水資源の保全と識字率の向上とあわせて、ロータリー財団の活用に関して助言を頂きました。短い時間ではありましたが、大変充実した例会となりました。

小牧ロータリークラブ



ホストクラブ
小牧ロータリークラブ

ホストクラブ会長名
菊地 鐵明

開催日 9月7日(水)

場 所
名鉄犬山ホテル

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
犬山ロータリークラブ	千田 昌宏	近藤 齊宏	81名
江南ロータリークラブ	景山 芳樹	森 弘好	56名
岩倉ロータリークラブ	井上 隆義	園原 宏治	20名
小牧ロータリークラブ	菊地 鐵明	五藤 隆夫	57名

9月7日、高橋治朗ガバナーをお迎えして、小牧ロータリー・クラブがホストする、犬山・江南・岩倉の4ロータリークラブの合同例会を開催した。そこで高橋治朗ガバナーより卓話を頂いた中で特に強調された内容について要約する。

- ①超我の奉仕について：米山梅吉が昭和14年にロータリーの精神としてService Above Selfについて説いている。足が地に付いた手作りのサービスを活発に、そしてサービスに差別がない事であると強調された。
- ②会員増強について：世界的に会員の減少傾向にある。その策としてロータリークラブの魅力を新たに生み出す必要がある。例会の運営のあり方。出席を積極的に推進する事であり、ホームクラブでの出席率の向上、ホームクラブクラブの運営を常にベストの状況に保つ事が肝要である。

以上の内容等について強調されると共にご指導を頂いた。一方ホスト立場で小牧ロータリー・クラブ会長菊地鐵明よりスローガンである『もう一度見直そう 温故一新』の基に委員会のプログラムを全員で見直し新たな気持ちで創立40周年に向かって邁進する方針の発表をした。高橋治朗ガバナーには、ご多用の折、合同例会にご来訪頂きお礼申し上げます次第です。

一宮中央ロータリークラブ



ホストクラブ
一宮中央ロータリークラブ

ホストクラブ会長名
小島 三男

開催日 9月7日(水)

場 所
一宮商工会議所 3Fホール

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
尾西ロータリークラブ	犬飼 万壽夫	森 信一郎	37名
一宮中央ロータリークラブ	小島 三男	長橋 國和	56名

高橋治朗ガバナー・川島誠地区幹事をお迎えして、尾西ロータリークラブとの合同公式訪問例会を一宮商工会議所3F例会場にて開催しました。

事前の会長幹事懇談会では尾西ロータリークラブ会長、幹事と合同でガバナー、地区幹事よりいろいろなアドバイスを頂き、特に新入会員のオリエンテーションには時間をかけて対応するようにとお言葉をいただきました。

またそれぞれのクラブの会長からガバナーにクラブの方針や特徴などの説明があり、しっかりとした活動をされておられると激励され、私どもは今後なお一層頑張ることを誓いました。

その後、例会場にて第2760地区で受けております青少年交換留学生のマリノ・シシリイさんの紹介をし、高橋ガバナーより卓話をいただき、特にアナハイムでのRI会長との研修の中でいろいろな経験をされたことや、諸外国ロータリアンの生活習慣の違い等をお話になりました。今回ガバナー公式訪問を当クラブで開催しまして、主幹する難しさや、ガバナー、地区幹事が各クラブへ訪問されることの大変さを実感しました。

名古屋西南ロータリークラブ



ホストクラブ
名古屋西南ロータリークラブ

ホストクラブ会長名
池井戸 貞夫

開催日 9月8日(木)

場 所
名古屋クレストンホテル

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋西南ロータリークラブ	池井戸 貞夫	鈴原 孝	49名
名古屋みなとロータリークラブ	早瀬 鎌行	吉田 利男	84名

去る9月8日高橋治朗ガバナー、川島誠地区幹事そして成田洋之ガバナー補佐糸井学ガバナー補佐幹事をお迎えし、名古屋みなとRC とのガバナー公式訪問合同例会を開催しました。

例会に先立ち行われた、会長・幹事懇談会では両クラブの抱える諸問題について議論しました。なかでも、会員の減少に歯止めをかけるにはどうすればよいか、又ロータリークラブも新しい100年に入ったので、合理化に向けて改革が必要ではないか、と意見を申し上げガバナーより適切なアドバイスを戴き、特に、退会防止には入会時の教育、説明が特に大事であると指摘を受け、そしてロータリーへの家族の理解が何よりも大切であることと指導がありました。今回の公式訪問で、ガバナーのロータリー活動に対する、今年度の指針を直接拝聴でき、会員一同心から感銘を受けましたことを、最後に申し上げ報告と致します。

豊橋北ロータリークラブ



ホストクラブ
豊橋北ロータリークラブ

ホストクラブ会長名
中西 喜久雄

開催日 9月13日(火)

場 所
ホテルアソシア豊橋

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
豊橋ロータリークラブ	上村 健介	村井 總一郎	64名
豊橋北ロータリークラブ	中西 喜久雄	鈴木 伊能勢	65名

今回の、ガバナー訪問は、一言で表現すると、和気あいあいと終える事が出来たと思っています。両クラブの会長・幹事も共に長いロータリー歴のため10回・20回のガバナー訪問を受けており経験と考えは持っていました。しかし、いざ当事者となると、大変緊張をしますし、特に幹事は、細かい段取りの多さに大変だったと、思われました。両会長としては、クラブの実績と本年度の方針のご理解をうることと、RI会長の方針である「超我の奉仕」の解釈・実践課題を訊ねるべく原稿を用意しました。

例会は、クラブの幹事のプラン通り進み、メインである、ガバナーのご挨拶を約30分にわたり聞かせていただきました。ノー原稿で、自分の考えを、はっきり、ゆっくり論ずるように、'ロータリーのなんであるか・RI会長の真意はどこにあるか'を話されました。

会員一同充分に理解しました。今後の9ヶ月の糧として進めて行きたいと思います。ありがとうございました。

豊川ロータリークラブ



ホストクラブ
豊川ロータリークラブ

ホストクラブ会長名
陶山 嘉伸

開催日 9月14日(水)

場 所
豊川商工会議所

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
蒲郡ロータリークラブ	志賀 弘嗣	清水 敏光	56名
新城ロータリークラブ	宮本 俊雄	金沢 政樹	56名
奥三河ロータリークラブ	東野 和敏	関谷 徹	21名
豊川宝飯ロータリークラブ	浅野 桂	近藤 元重	55名
豊川ロータリークラブ	陶山 嘉伸	内藤 雄功	65名

国際ロータリー第2760地区高橋治朗ガバナー年度の公式訪問は、9月14日、豊川ロータリークラブがホストを務め、5ロータリークラブ（蒲郡・新城・奥三河・豊川宝飯・豊川）合同により、豊川商工会議所で開催いたしました。

例会に先立っての合同会長・幹事懇談会では、それぞれのクラブの運営方針や活動状況を報告、ガバナーからは適切なご意見ご指導をいただきました。

合同例会では、アナハイムでの研修の様子、ステンハマー会長方針、RIテーマ「超我の奉仕」について、わかりやすくお伝えいただき、5RC会員一同理解を深めることができました。人間に対しても、自然に対しても、思いやりを持った奉仕をするには、地域社会のニーズ・動きをよく見ることが大切であり、奉仕の機会として知り合いを広め、業務を通じて社会に奉仕できる力強いロータリー会員であるよう今後も努力していきたいと改めて感じました。

西尾KIRARAロータリークラブ



ホストクラブ
西尾KIRARAロータリークラブ
ホストクラブ会長名
杉田 芳男
開催日
9月16日(金)
場所
ロイヤルスクエア平安殿

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
西尾ロータリークラブ	三浦 康彦	北山 健二	74名
一色ロータリークラブ	小池 孝	木村 研一	33名
西尾KIRARAロータリークラブ	杉田 芳男	酒井 進	59名

高橋ガバナーのご来訪誠に有難うございました。当クラブが持ち悩む諸問題に適切なアドバイスを頂き大きな励みになりました。早速に下記に報告と希望を述べます。

1. 会員増強の報告
地元青年会議所に行き、RC活動と入会のPRを実施
入会候補者に面会し継続的な入会勧奨を実施
会員増強委員長を中心に増強の具体策の検討に入ります。
2. 地域への活動の展開
15周年を機会として当クラブの存在をPRし、取り分け教育問題をテーマに父兄・学校・地域と連携し問題提起と解決方法を見出して行きたい。
3. 負担金の情報開示依頼
負担金の使用用途について情報開示を更に進めて欲しい。
義務的な負担から積極的参画負担に進む事を希望します。

渥美ロータリークラブ



ホストクラブ
渥美ロータリークラブ
ホストクラブ会長名
木村 弥富
開催日
9月21日(水)
場所
田原市 華山会館

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
田原ロータリークラブ	大場 真昭	広中 貴彦	58名
田原パシフィックロータリークラブ	真木 良典	磯田 国男	68名
渥美ロータリークラブ	木村 弥富	彦坂 育甫	42名

9月21日愛知県最南端、最も遠い渥美半島田原市まで第2760地区高橋ガバナー・川島地区幹事にお越し頂き、毎年楽しみにしている3クラブ合同例会を開催できたことを大変喜ばしく思います。特に今年は田原市との合併を10月1日に控え、会長挨拶の中で「渥美半島は一つ」という全員の認識を共有して田原RC、田原PRC、渥美RCの合同例会を開催することが出来ました。

例会に先立ち、高橋ガバナー・川島地区幹事を囲んで会長、幹事、エレクト、副幹事でそれぞれのクラブでかかえている問題点等について協議することが出来ました。引きつづき3クラブ合同例会を開催し、高橋ガバナーよりRIテーマ「超我の奉仕」又地区方針等について非常にわかりやすい言葉で明確に説明を頂き我々会員としてしっかりとガバナー方針を理解することが出来ました。

限られた時間ではありましたが、しっかりと聞きロータリーの奉仕の精神をしっかりと理解してクラブ運営に生かしていきたいと思います。
次年度ガバナー訪問担当田原PRCの近藤会長エレクトの挨拶で無事終了することが出来ました。
皆様のおかげでスムーズに運営ができ感謝しています。

高浜ロータリークラブ



ホストクラブ
高浜ロータリークラブ
ホストクラブ会長名
黒田 勝基
開催日
9月27日(火)
場所
知立出雲殿

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
刈谷ロータリークラブ	岡本 戡紘	吉原 孝彦	87名
碧南ロータリークラブ	岡田 起勇	亀山 裕一	75名
高浜ロータリークラブ	黒田 勝基	野々山 貴文	43名
知立ロータリークラブ	高村 睦浩	川地 英明	63名

公式訪問例会前の4クラブによる会長幹事会では新しく採択された2004年度版手続要覧に対する質問(組織に関して、会員増強、海外との合同奉仕活動、地区各種補助金申請に関するもの)などで、多大な指導をいただきました。内容はかなり詳細にわたった懇談会でしたが活発な意見交換がされました。

続いて開かれました例会では、4クラブ合計221名の出席をもって行われ、日本のロータリー会員の女対男比率、今年度ステンハマーRI会長テーマである『超我の奉仕』を歴史と、米山梅吉翁の考えなどの事例をまじえ解説され、また識字率、水保全の改善の重要性を熱く語られました。

ガバナー公式訪問と(記事掲載時には)地区大会が無事終了し、ホッとしたところですが、これからが我々ロータリアンが本当の意味で奉仕活動をじっくり推進する時期になったということで御指導いただいた点等、今後の活動に反映して行きたいと考えます。

津島ロータリークラブ



ホストクラブ
津島ロータリークラブ
ホストクラブ会長名
安達 勝夫
開催日
9月30日(金)
場所
名鉄グランドホテル11F

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
津島ロータリークラブ	安達 勝夫	伊藤 哲朗	77名
あまロータリークラブ	酒井 和雄	岩島 裕芳	92名

「愛・地球博」の熱気がいまだ冷めやらぬ中、残暑厳しい9月30日、高橋治朗ガバナー、川島誠地区幹事をお迎えして、津島・あま両クラブ公式訪問、合同例会を開催いたしました。

例会に先立ち、ガバナーによる会長・幹事懇談会では、ガバナーの気さくで温かい人柄に接し、和気藹々の中、今年度方針を中心にご指導をいただき、またクラブ運営の親睦、奉仕についても非常に多岐に亘る大変参考になるお話をいただきました。

そして、例会の卓話では、RIテーマ「SERVICE Above Self」についての説明と、それを受けての地区方針についてご講演をいただきました。「超我の奉仕」について、今の時代にどう取り組んでいくのか、やさしく、わかりやすくお話しいただきました。

「愛・地球博」が大成功に終わり、ロータリー館が大勢の方に利用いただいたという、大きな達成感の中に、すばらしい例会になりました。

ポリオ撲滅募金活動キャンペーンの御礼

2760地区ロータリークラブの皆様へ

第2760地区 ガバナー 高橋 治 朗

多くのロータリアンの皆様に多大なご支援、ご協力いただきましたポリオ撲滅募金活動キャンペーンにつきまして、改めて厚く御礼申し上げます。また下記のように、ポリオ撲滅募金活動日本委員会 委員長 千 玄室様より、活動キャンペーンの御礼の言葉が送られてまいりましたので、区内の皆様にもお伝え致したく、掲載させていただきます。

ポリオ撲滅募金活動キャンペーン 御礼と御報告

ポリオ撲滅募金活動キャンペーン
日本委員会 委員長
千 玄 室



日本におけるポリオ撲滅募金活動キャンペーンは、日本委員会委員、地区ガバナー、クラブ会長と多くのロータリアンのご理解とご協力により、別紙の如く多大の成果を収めることが出来ました。

これはひとえにロータリアンの慈愛・寛容・忍耐の精神を発揮いただいた賜物であり、心より厚く感謝申し上げます。誠に有難うございます。

ロータリーでは、US\$8,000万ドルを協力目標として、「RI新キャンペーン：我々の約束実行・ポリオ撲滅」「Fulfilling our promise: Eradicate Polio」と位置づけ、2002年から2005年まで3年間のキャンペーンを開始いたしました。

日本は、8,000万ドルの内、20%即ち、1,600万ドルを分担することになりました。これは一人当たり150ドルの寄付金を集めることになります。日本委員会はこの戦略計画の策定に努め、ロータリーの組織を挙げて、それを実行し、各委員の方々の大変精力的なご活動、ご努力の結果、活動期間を終えた2005年6月30日のRI事務局の集計によりますと、DDFと募金額の合計で、15,179,670ドル、目標達成率95%に達し、2005年6月の会員数103,032名から算定して、一人当たりの募金額147.33ドルに達しました。100%とはなりませんでしたが、この間の皆様のご努力は、本当に素晴らしいものであったと、喜んでおります。

特に本年度3月時点でUS\$13,505,977（達成率84.4%）目標に対し、約250万ドル未達成でしたが、再度の更なる募金の依頼に対し、残された3ヶ月間で日本委員の方々は、大変精力的に活動していただき、DDFからの拠出等、

工夫され、目標達成95%の域に到達させていただきました。ロータリアン皆様のエネルギーと友情に頭が下がる思いでいっぱいです。

再度の依頼に対し、各地区からの慈愛に満ちた、ご返事やご回答を頂き、それを実行していただいた結果であります。連帯感と友情は「和」の心に通じるものと、深く深く感謝し、心よりお礼いたします。

また世界全体では、このキャンペーンは大成功で、世界に約束した目標の8,000万ドルに対し、2005年6月30日で1億3,500万ドル（達成率163%）という素晴らしい金字塔を打ち立て、本年5月シカゴで開催された第95回年次大会でGlenn E. Estees, SR RI会長は、ロータリー創立100年を振り返り、ポリオ撲滅募金活動の実績を誇りをもって報告されました。日本の募金貢献度は164カ国中、米国に次いで2位でございます。

この様な素晴らしい成功を達成出来ましたのも、長年に渡るロータリー活動の成果ではありますが、今後もポリオへの対処を怠ってはならないと存じます。

ポリオ投与を受ける世界の子供達の輝く目と親の喜ぶ姿を目の当りにすることは、奉仕をさせていただくロータリアンにとって、感動であり、癒しであります。

この感動がロータリアンを奉仕へと駆り立て、世界からポリオをなくす活動（Polio free）に、世界のロータリアン一人一人の力が結集し、キャンペーンが大成功裏に終わられた原点であると存じます。

多大のご協力に深く感謝するとともに、ここに終了のご報告とさせていただきます。

本当に有難うございました。

2005年8月25日

2006～2007年度 国際ロータリー第2760地区

地区スタッフ決定

ガバナー
エレクト

斎藤 直美

医療法人 豊寿会 斎藤病院 理事長

1972.2 豊田ロータリークラブ入会
 1984～1985 国際奉仕委員長
 1986～1987 親睦委員長
 1997～1998 国際奉仕委員長
 2000～2001 副会長（クラブ奉仕委員長兼務）
 2001～2002 会長エレクト
 2002～2003 会長
 2003～2005 地区財団奨学委員
 米山奨学金
 ボールハリスフェロー
 ベネファクター

次期
地区幹事

藤井 伸三

(有) エー・アイ・ユー豊田 代表取締役

1979.3 豊田ロータリー 2003～2004 会長
 クラブ入会 2004～2005 ロータリー
 1985～1986 職業奉仕委員長 情報委員長
 1989～1990 雑誌委員長 ベネファクター
 1990～1991 出席委員長 ボールハリスフェロー
 1991～1992 副幹事 米山奨学金
 1992～1993 幹事
 1998～1999 広報委員長
 2001～2002 副会長
 2002～2003 会長エレクト

地区監事



渡辺 祥二

大豊工業(株) 相談役

1992.8 豊田ロータリークラブ入会
 1996～1997 職業奉仕委員長
 1998～1999 社会奉仕委員長
 ボールハリスフェロー
 米山奨学金

地区
会計長

伊藤 康司

(株) 川平屋 代表取締役

1981.3 豊田ロータリー 1999～2000 会長
 クラブ入会 2000～2001 ロータリー情報委員長
 1984～1985 会場監督(SAA) 2002～2003 ガバナー補佐
 会場委員長 2003～2005 会計監査
 1989～1990 広報委員長 ベネファクター
 1990～1991 プログラム委員長 ボールハリスフェロー
 1991～1992 会計 米山奨学金
 1993～1994 社会奉仕委員長
 1997～1998 副会長
 (クラブ奉仕委員長)
 1998～1999 会長エレクト

地区
副幹事

天野 勝美

(株) 豊田ガーデン 代表取締役

1994.2 豊田ロータリークラブ入会
 1996～1997 会報委員長
 1999～2000 青少年奉仕委員長
 2002～2003 社会奉仕委員長
 2003～2005 地区職業奉仕委員
 ボールハリスフェロー
 米山奨学金

地区
副幹事

梅村 正明

(資) 豊田不動産鑑定所 無限責任社員

1992.7 豊田ロータリークラブ入会
 1996～1997 国際奉仕委員長
 2000～2001 プログラム委員長
 2002～2003 ガバナー補佐幹事
 2003～2004 社会奉仕委員長
 ボールハリスフェロー
 米山奨学金

地区
副幹事

秋田 敬治

アキタ(株) 代表取締役社長

1998.7 豊田ロータリークラブ入会
 2002～2003 新世代委員長
 2003～2005 地区新世代委員
 ボールハリスフェロー
 米山奨学金

地区
副幹事

鈴木 元弘

(株) 鈴鍵 代表取締役

1996.4 豊田ロータリークラブ入会
 2000～2001 環境保全委員長
 2002～2003 親睦委員長
 2004～2005 新世代委員長
 地区環境保全委員
 ボールハリスフェロー
 米山奨学金

**地区
副幹事**
河木 照雄

(株)山田屋 代表取締役



1994.2 豊田ロータリークラブ入会
1998～1999 会場委員長
2001～2002 親睦委員長
2002～2003 会場委員長
2003～2004 副幹事
2004～2005 幹事
ボールハリスフェロー
米山奨学金

**地区
副幹事**
松井 勇

朝日建設(株) 代表取締役



1995.4 豊田ロータリークラブ入会
1999～2000 新世代委員長
2003～2004 環境保全委員長
ボールハリスフェロー
米山奨学金

**地区
副幹事**
木下 桂一

エーディー(株) 代表取締役社長



1996.4 豊田ロータリークラブ入会
2000～2001 会報委員長
2002～2003 環境保全副委員長
2003～2004 会場委員長
2004～2005 環境保全副委員長
ボールハリスフェロー
米山奨学金

**地区
副幹事**
酒井 法丈

豊田警備保障(株) 代表取締役社長



1998.3 豊田ロータリークラブ入会
2003～2004 親睦委員長
2004～2005 地区世界社会奉仕委員
ボールハリスフェロー
米山奨学金

**地区
スタッフ**
孕石 邦雄

(株)大幸 代表取締役社長



1992 豊田ロータリークラブ入会
1995～1996 会報委員長
1996～1997 青少年奉仕委員長
1998～1999 出席委員長
1999～2000 親睦委員長
2001～2002 ライラ委員長
2002～2003 副幹事
2003～2004 幹事
2004～2005 副幹事
ボールハリスフェロー
米山奨学金

**地区
スタッフ**
鈴木 秀和

利達工業(株) 代表取締役



1998.3 豊田ロータリークラブ入会
2001～2002 環境保全委員長
ボールハリスフェロー
米山奨学金

**地区
スタッフ**
杉浦 毅

貞宝工業(株) 代表取締役



1999.4 豊田ロータリークラブ入会
2004～2005 国際奉仕委員長
財団友の会
米山奨学金

**地区
スタッフ**
鈴木 幸伸

太陽自動車(株) 代表取締役



2000.4 豊田ロータリークラブ入会
2001～2002 会報委員長
財団友の会
準米山功労者

**地区
スタッフ**
松井 博文

新東電気工事(株) 代表取締役



2003.2 豊田ロータリークラブ入会
財団友の会

**地区
スタッフ**
大山 輝美

豊田信用金庫 専務理事



2002.7 豊田ロータリークラブ入会
財団友の会

■ 万博を終えて

「万博・ロータリー館 館長を終えて」

ロータリー館 館長
豊島 徳三



2005年9月25日「愛・地球博」は名誉総裁 皇太子殿下行啓の下、185日の会期を終えた。懸念された地震、テロ、天災、人災のいずれも問題なく閉幕出来た事は誠に幸運であった。2002年秋、ガバナーにノミネートされて、初めて万博・ロータリー館の計画に参画する事となった。

当時、正直いって、資金計画進捗度も余り進んでなく、募金活動こそが第一歩と判断し、ガバナー就任と同時に、公式訪問、各委員会、ゾーン研究会等あらゆる会合の度に協力を働きかけ聲援を買う事は覚悟の上で努力した結果、地区内は固より全国の各クラブ、会員のご理解とご賛同により、略、見通しのついた時は達成感と感謝、感激の極みであった。

初冬の雪模様の中、協会と用地の引き渡し、起工式、竣工式、開館の日とトントン拍子で推移した。特にご多忙の中、全ての行事にご臨席下さった2005年日本国際博覧会協会会長豊田章一郎様に対して心より感謝申し上げます。器は整ったものの私としては何をどう為すべきか未経験の分野、期待と戸惑いの中で当日を迎えた。3月25日、岐阜RCの夜間例会から9月22日名古屋西RCの例会に到る迄、例会193回、参加228クラブ(12,092人)委員会等、16回(1,579人)、メークアップ8,141人(内外国人579人)合計21,504人の会員・家族のご来館は予測を遙かに上回り、驚きと感動の日々であった。単純計算すると万博来場者2,240万人の1,000人に一人はロータリー関係者となる。元来ロータリーのおもてなしはモノより心、握手し対話する事にありと信じている。私は確かに185日中147日出勤した。しかし、館長補佐大竹一義さん、飯田幸雄さん、佐藤良寛さん、丹羽司一さんには何の見返りも期待出来ない業務なのに期間中頂いたご好意には頭の下がる思いで改めて敬意を表する。来館会員より「今日は館長不在なの」「瀬戸の会員は素晴らしい奉仕をされてるね」と問いかけられる度に到らぬ自らに内心忸怩たる思いに陥り、存在感の差を痛感させられた。多目的ホールとして協会のプロジェクトとしては、世界経済人会議では皇太子殿下のご来館の栄に浴し、世界アマチュア囲碁大会、マンモスシンポジウム、中高生ディベート大会、出展各国の政府高官によるセミナー、大いに誤解を招いたプラチナ茶室など国際交流、出逢いの場として、モリゾーキッコロのからくり人形は多くの人々に印象を与えたと思う。時にはロータリーの歴史、哲学、奉仕の実情の説明を求められ一般の人々にご認識を頂ける機会にもつながった。この点、本来の目的としたロータリー会員相互の「友愛の家」友情の交流の場としての役割と相俟て確実に果たせたと自負している。

残念な点は、その一、インターネット・ロータリーの友・募金活動を通じて広報を努めたが意外に認知度が薄く、地図の上で、風にはためくロータリー旗で初めて知ったという来館が多く、広報活動の不手際として責任を感じ、今後の課題として心すべきことと痛感した。二つ目はあの自らの美しい品位すら感じさせ、いつも心に安らぎを与えてくれた「館」は本号配布の頃にはその姿を消しているという事である。最後に全国のロータリアン、副館長 藤本博之さん、館長補佐の皆さん、ならびにロータリアンにも勝るとも劣らぬ協力をして下さった事務局の皆さん、陰で支えてくれた多くの人々に心から感謝申し上げます。
ロータリーは不滅です。
ロータリー館さようなら。
ロータリー館ありがとう。

無事「万博ロータリー館」 運営を終えて

2005国際博覧会 委員長
内藤 明人



先ずもって、万博ロータリー館がその期間中無事運営され、内外ロータリアン並に万博協会、並に万博訪問の皆様へ慶んで戴き無事使命を果たし得たことに、ロータリアンの皆様へ心から感謝御礼申し上げます。

私事1998年～1999年度のRI2760地区のガバナーをさせていただいていた時に万博が具体的に決まり、万博ロータリー館建設の責任者に任命され出発したものです。

その時、三つの事を解決しようと思いました。

- 1 地区内外のロータリアンの方々に万博ロータリー館の意義をよく理解して戴くことです。
- 2 スタッフ構成をどうするかということです。
- 3 どの程度の予算がかかり、それをどのように集めるかということです。

①の点につきましては、諮問委員会、地区協議会、ガバナー会、地区大会等にできるだけ出席して理解を求めました。

②のスタッフ構成は当地区内のその折のガバナー補佐の方々、私出身の名古屋西ロータリーの有力なの方々、各地区ロータリーからの万博委員等の方々をお願いをすることにしました。

③予算及び建設については、藤本氏(西ロータリー会長(万博ロータリー館副館長)(中央コンサルタンツ(株)会長「土木建設」)に御願いし知人の国分ロータリアン(万博委員)(建設設計会社社長)に御願ひすることになりました。

御案内の様に万博ロータリー館は立派に出来上がりました。会期中、豊島徳三(パストガバナー)ロータリー館長の下、藤本副館長並に瀬戸ロータリーの方等の連日の御支援の下、ロータリークラブ例会場として、又、国際ロータリー100周年記念会場として下記の様な内容で利用されました。

例 会	例会数		クラブ数		来場者数
	191回		226クラブ		11,882人
メークアップ	地区内	地区外	外国の方	計	
	2,602人	4,743人	567人	7,912人	
ロータリー以外での使用 (万博協会)			使用回数	利用人数	
			15回	1,089人	

合計 20,883人

以上の様な結果でありました。

ここにロータリアン各位の物心両面に亘る絶大な御支援の下、順調に参りましたことに感謝申し上げ報告に代える次第です。

会員数及び出席報告

平成17年9月分

区分	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	9月出席率
		2005年7月1日	2005年7月1日女性	2005年9月末日		9月	累計	9月	累計		
南尾張区分	半田	62	3	63	3	0	1	0	0	5	100%
	常滑	53	0	55	0	0	2	0	0	4	96.20%
	東海	53	2	57	2	1	4	0	0	4	97.35%
	東知多	20	1	22	1	0	2	0	0	4	77.50%
	半田南	51	1	51	1	0	1	0	1	4	96.27%
	知多	25	0	25	0	0	0	0	0	2	90.00%
	大府	26	1	27	1	0	1	0	0	4	96.50%
	7RC	290	8	300	8	1	11	0	1		93.40%
西尾張区分	一宮	79	0	77	0	0	1	3	3	5	99.48%
	津島	75	2	77	2	0	2	0	0	4	88.71%
	尾西	37	0	35	0	0	0	0	2	3	88.57%
	一宮北	57	0	56	0	0	0	0	1	4	96.96%
	稲沢	59	0	60	0	0	1	0	0	4	86.27%
	あま	90	0	92	0	2	2	0	0	4	96.75%
	西春日井	39	1	39	1	0	0	0	0	4	96.49%
東尾張区分	尾張中央	52	0	53	0	0	1	0	0	3	87.33%
	一宮中央	55	6	56	6	1	1	0	0	4	92.69%
	9RC	543	9	545	9	3	8	3	6		92.58%
	瀬戸	78	2	79	2	1	1	0	0	4	98.66%
	犬山	81	0	81	0	0	0	0	0	4	100%
	江南	57	1	57	1	0	0	0	0	4	95.54%
	小牧	57	2	56	2	0	0	1	1	3	91.67%
西名古屋区分	春日井	64	3	65	3	0	1	0	0	4	92.40%
	尾張旭	27	0	28	0	0	1	0	0	4	100%
	名古屋空港	55	0	56	1	0	1	0	0	3	96.96%
	瀬戸北	71	4	71	4	1	1	1	1	4	100%
	岩倉	20	0	20	0	0	1	0	1	4	96.25%
	豊山・城北	27	1	25	1	0	0	2	2	4	80.95%
	愛知長久手	22	2	22	2	0	0	0	0	4	86.36%
	11RC	559	15	560	16	2	6	4	5		94.44%
西三河区分	名古屋	183	0	189	0	3	9	2	3	4	96.03%
	名古屋西	99	0	106	0	0	7	0	0	5	94.75%
	名古屋南	111	0	118	0	3	7	0	0	4	93.59%
	名古屋みなと	84	0	84	0	0	0	0	0	4	95.04%
	名古屋東南	72	5	74	5	0	2	0	0	4	95.47%
	名古屋中	133	0	134	0	2	2	0	1	3	99.00%
	名古屋瑞穂	75	0	75	0	0	0	0	0	5	97.86%
西三河区分	名古屋大須	67	2	69	2	0	2	0	0	5	96.58%
	名古屋栄	74	0	76	0	0	2	0	0	3	96.00%
	名古屋名南	80	12	81	13	0	1	0	0	4	96.33%
	名古屋名駅	98	3	100	3	0	3	0	1	4	92.41%
	名古屋西南	48	7	49	7	0	1	0	0	5	93.72%
	12RC	1,124	29	1,155	30	8	36	2	5		95.57%
クラブ		平均									
平均出席率		81	94.83%								

区分	クラブ名	2005年7月1日	2005年7月1日女性	2005年9月末日	当月女性	9月	累計	9月	累計	例会数	9月出席率
東名古屋区分	名古屋北	92	0	96	0	1	6	2	2	4	98.74%
	名古屋東	89	0	91	0	1	3	0	0	3	96.89%
	名古屋守山	61	4	62	4	1	1	0	0	4	84.82%
	名古屋和合	97	0	99	0	0	3	0	0	4	91.55%
	名古屋名東	57	6	58	6	0	1	0	0	3	100%
	名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	4	96.43%
	名古屋千種	61	5	59	6	1	2	2	4	4	90.83%
東三河区分	名古屋昭和	61	0	61	0	0	0	0	0	3	99.40%
	名古屋錦	34	6	34	6	0	0	0	0	4	92.43%
	名古屋東山	59	2	60	2	1	1	0	0	5	95.52%
	名古屋葵	22	0	22	0	0	0	0	0	4	51.08%
	11RC	681	30	690	31	5	17	4	8		90.70%
	豊橋	114	4	116	4	0	2	0	0	5	93.28%
	蒲郡	53	0	56	0	0	4	1	1	4	88.46%
西三河区分	豊橋北	93	2	96	2	1	3	0	0	4	98.48%
	豊川	66	0	65	0	0	0	1	1	4	96.16%
	田原	59	1	58	0	0	0	0	1	4	92.86%
	豊橋南	60	0	62	0	1	3	0	1	3	95.75%
	新城	55	0	56	0	0	1	0	0	4	93.84%
	渥美	40	0	42	0	0	2	0	0	4	89.86%
	奥三河	21	3	21	3	0	0	0	0	3	93.00%
西三河区分	豊川宝飯	56	0	55	0	0	0	0	1	4	94.40%
	豊橋ゴールデン	66	0	66	0	0	0	0	0	4	94.17%
	田原パシフィック	68	0	68	0	0	0	0	0	4	92.65%
	豊橋東	47	0	47	0	0	0	0	0	4	100%
	13RC	798	10	808	9	2	15	2	5		94.06%
	岡崎	97	1	99	1	1	2	0	0	4	100%
	豊田	74	0	75	0	0	2	0	1	3	100%
西三河区分	岡崎南	96	2	95	2	0	1	2	2	4	97.07%
	豊田西	100	0	101	0	0	1	0	0	3	100%
	岡崎東	64	0	66	0	1	2	0	0	5	95.00%
	豊田東	80	0	83	0	0	3	0	0	4	96.78%
	岡崎城南	73	0	75	0	0	2	0	0	4	100%
	豊田三好	22	3	23	3	0	1	0	0	3	98.48%
	豊田中	49	5	49	5	0	0	0	0	4	100%
西三河区分	9RC	655	11	666	11	2	14	2	3		98.59%
	刈谷	87	0	89	0	0	3	0	1	3	100%
	安城	64	1	66	1	0	2	0	0	4	98.94%
	西尾	74	1	74	1	1	1	0	1	4	100%
	碧南	75	0	77	0	0	2	0	0	4	98.79%
	一色	33	0	33	0	0	0	0	0	4	99.24%
	高浜	43	3	43	3	0	0	0	0	4	100%
西三河区分	知立	63	0	65	0	0	2	0	0	4	99.56%
	西尾KIRARA	58	0	59	0	1	2	1	1	4	100%
	三河安城	55	5	54	5	0	0	0	1	4	96.88%
	9RC	552	10	560	10	2	12	1	4		99.27%

地区内クラブ数 81RC	2005年 7月1日会員数	5,202名 内女性 122	増加会員数（累計）	119名
	当月会員数	5,284名 内女性 124	減少会員数（累計）	37名
	当月平均出席率	94.83%	差引純増会員数（累計）	82名

第2回地区諮問委員会

日時 2005年9月10日(土) A.M 11:00～
場所 名鉄グランドホテル

出席者 福田P.D.G. 田中P.D.G. 盛田P.D.G. 加納P.D.G. 神戸P.D.G.
石川P.D.G. 松本P.D.G. 内藤P.D.G. 野村P.D.G. 福田P.D.G.
岡部P.D.G. 豊島P.D.G. 大島P.D.G. 高橋D.G. 斎藤D.G.E.

オブザーバー 安藤直前地区幹事 近藤直前地区会計長
川島地区幹事 藤井次期地区幹事
大杉地区スタッフ

欠席者 森P.D.G. 奥谷P.D.G. 宮地P.D.G. 蜂谷P.D.G. 太田P.D.G.



高橋ガバナー挨拶

- | | | |
|------|---------------------|------------------------------|
| 協議事項 | ① 2004～2005年度 | 地区会計決算(案)承認の件 |
| | ② 2007～2008年度 | 国際ロータリー第2760地区ガバナーノミニー候補推薦の件 |
| | ③ 2006～2007年度(斎藤年度) | ガバナー補佐候補推薦の件 |
| | ④ 2005～2006年度 | 地区大会決議案採択の件 |
| | ⑤ 規定審議会について | |
| | ⑥ その他 | |

- 報告事項
- ① 地区大会RI会長代理について
 - ② カムリーバンク基金について
 - ③ 第2760地区会員数について
 - ④ ガバナーエレクト事務所開設について
 - ⑤ ロータリー館現況報告
 - ⑥ 地区法人化について
 - ⑦ カトリーナハリケーン災害救援募金について



文庫通信

217号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの心を探ねて

◎「ロータリー入門書 2005～2006年度版」
前原勝樹;重田政信(改訂) 2005 190p [申込先:重田政信 FAX(027)363-4338]

◎「理想的なロータリークラブの条件」
南園義一 2005 3p(D.2730月信) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリーの心を探ねて 追録」
松田尊文 大牟田R.C. 2005 18p [申込先:大牟田R.C. FAX(0944)57-7220]

◎「ロータリーに生き抜かれた宮脇 富先生を偲び」
大田R.C. 2005 39p [申込先:大田R.C. FAX(0854)82-5121]

◎「ロータリーと米山奨学会」
島津久厚 2004 7p(D.2700地区大会基調講演) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「超我の人 米山梅吉の聲音」
米山梅吉記念館 2005 266p [申込先:米山梅吉記念館 FAX(055)989-5101]

◎「点描 米山梅吉」
谷内宏文 2005 369p [申込先:新風舎 TEL(03)3746-4648]

◎「『決議23-24』を守る意義とその歴史—心のよりどころを守って—」
D.2780 2005 8p(D.2780地区史) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「1911年11月号のThe National Rotarian
第1号に掲載のコリンズのスピーチ原稿」
8p(D.2680月信) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日